

年次支部協議会
 開催日時:平成25年8月31日(土)15:00~17:00
 開催場所:中央大学駿河台記念館610号室

支部名	年次支部協議会	
白門二六会	支部長	新海 順次
	幹事長	田中 嵩
二七会	欠	
白門二九会	支部長	中村 茂八郎
	参与	志邨 守夫
三十年会	支部長	堀合 辰夫
白門三一会	幹事長	山口 隆
	広報委員	遠藤 喬介
白門三二会	幹事長	石川 光弘
	副幹事長	猪野 邦司
	副幹事長	佐藤 義
白門三三会	支部長	青山 和夫
白門三五会	欠	
白門三七会	支部長	庭山 卓
	幹事長	川島 豊臣
	事務局長	慶野 弘子
白門三九会	支部長	高橋 丈雄
	幹事長	柳田 晋次
白門40年会	支部長	佐々木 幸男
	事務局長	西山 勝凱
42年白門会	支部長	鈴木 康二
	幹事長	小林 定寿
白門43会	支部長	龍門 海行
	副支部長	金子 典雄
	幹事	立岩 正義
白門44会	支部長	馬場 榮次
	幹事長	小林 健一
	会長	松木 茂夫
	事務局長	山岡 静子
白門45会	支部長	相場 有二
	幹事長	山城 博光
	事務局長	平岩 弘邦
白門46会	幹事長	遠藤 一義
	名誉会長	増田 晃次郎
白門48会	支部長	小田 眞一
	学員会担当委員長	佐藤 愛子
	49年卒業	牧 ひろし
白門53会	欠	
白門54会	支部長	掛水 省三
白門55会	欠	
57 ネット	支部長	乗兼 浩明
白門63会	幹事長	松尾 あずさ
平成元年白門会	副会長	菊地 英治
	幹事長	小川 学
平成2年	欠	
白扇会(平3)	欠	
平成11年白門	幹事長	久保 良太
年次支部協議会	顧問	正野 建樹
		室 勝弘
学員会本部事務局	事務局長	木下 澄雄

2013.8.31 会議資料

(I)

平成 25 年 7 月 吉日

中央大学学員会 年次支部 支部長、幹事長、担当幹事各位
年次支部協議会 執行部役員、顧問各位

中央大学学員会 年次支部協議会
代表幹事 小 田 眞 一
事務局長 柳 田 晋 次
企画運営委員会 委員長 掛 水 省 三

中央大学学員会 年次支部協議会全体会議の開催について

拝啓

盛夏の候、時下ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。

さて、年次支部協議会全体会議（兼納涼懇親会）を開催したいと存じます。下記のとおりご案内いたしますので、万障繰り合わせの上ご参加いただきたくお願い申し上げます。また、納涼懇親会は多少趣向をこらして行いたいと思っております。

敬具

記

[年次支部協議会]

開催日時：平成 25 年 8 月 31 日（土） 15 時 00 分～17 時 00 分

場所：中央大学駿河台記念館 610 号室

[納涼懇親会]：同日 17 時 00 分～19 時 00 分・・・プリオール（駿河台記念館 1 階）

会費：男性 4,000 円、女性 3,000 円予定

出席者：年次支部 支部長、幹事長、担当幹事、執行部役員、顧問、各実行委員長

「議題」・・・報告事項

1. 委員会活動事業費申請の件
2. 新規施策について（会報発行等）
3. 若手意見交換会の報告（7/13）
4. 10/19（土）箱根駅伝予選会応援の件
5. 10/27（日）ホームカミングデーの協力体制の件
6. その他、意見交換

※※当日、上記以外に協議事項がありましたら、出欠連絡用ファックス、または事前に小田までメール（si_ma1982@yahoo.co.jp）でお知らせください。

※※10月以降で、年次を越えて交流できるイベントがありましたら、お知らせください。

（例）支部のハイキング、学生スポーツ応援、大学吹奏楽団の演奏会、俳句の会、合唱団等

以上

追伸

このご案内は、学員会年次支部の各支部長（または、幹事長）にのみ発送しております。支部長（幹事長）から、必ず幹事長（支部長）や学員会担当の役員にお知らせください。

また、役員改選等により、支部長、幹事長、担当役員が変更になった場合、必ずその旨をファックスでお知らせください。

0

平成25年度事業計画について

平成25年8月31日
年次支部協議会

平成25年度年次支部事業計画は、委員会活動を中心に進められており、各委員会の活動に要する費用について、以下の方針にて、年次支部協議会検討、承認の上進めることとしたい。

委員会	事業の内容	事業費概要	方針(案)
学生支援委員会 間宮委員長	セミナーを開催し、中央大学学生の就職活動の支援を行う。	880,000円 (会食費50万円を含む。)	前年度繰越金30万円を除いた58万円で、学会本部に事業費申請を行う。
学員交流委員会 山本委員長	平成年次の学員会離れ⇒つなぐプロジェクトを実施する。	未定	今後学会本部と定期的に協議し、今年度開催を行う。
IT化推進委員会 小川委員長	各年次支部のホームページ開設の助力を行う。	100,000円	年次支部会計から支出。 学会事務局にホームページ制作請求申請(5万円)を行う。
会報発行準備 チーム 佐藤総務部長	会報を定期的に発行し、交流イベント情報等をお知らせする。	150,000円	トライアルのため、年次支部予算から、15万円程度の実費支出。
年次支部協議会	郵送料、封筒印刷費等の確保(年間8~10万円の費用がかかる見込み)	50,000円	年次支部会計から支出。 学会事務局に事務費請求申請(5万円)を行う。

1-(1)

1-(2)

1-(3)

1-(4)

上記の提案に関しては、年次支部協議会として協議の上、次の通り結論を得ることとしたい。

- ① 学生交流委員会施策に関しては、過去の実績もあり、中央大学にとって非常に重要性の高いものであることから学会本部に必要な費用を上伸したい。
 - ② 学員交流委員会施策については、学会本部の意向を受け、イベントの内容、効果、運営費用等を検討する必要がある、学会本部と定期的に協議を行い、内容を固めた上で、別途企画運営委員会を開催し進めることとしたい。
 - ③ IT化推進委員会施策に関しては、既にホームページの作成も行われており、今回は、かかった費用全額を年次支部から支出し、学会事務局にホームページ作成費(5万円)の請求手続きを行う。
 - ④ 会報発行準備に関しては、学員同士のコミュニケーションツールとして、重要なものと思われ、今年度発行の実費は、全額年次支部として支出する。(実績作りを行う。)
- なお、成果をみて、今後本部上伸も検討する。
- ⑤ 年次支部協議会費用として、個別支部では支部報告により5万円支給されていることから、本趣旨にあわせ活動報告書を提出して、学会事務局に請求手続きを行う。

平成25年度年次支部協議会、企画運営委員会総合スケジュール表

平成25年4月13日

企画運営委員会、年次支部協議会

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	摘要
大学行事への参加							☆ホームcomingパーティーへの参加			☆箱根駅伝応援		☆卒業記念パーティー	・年次支部として参加を奨励する。 各支部の支部長、幹事等は参加が望ましい。 ・大学の募金活動に協力する。
学生ボランティア活動への支援								東北大震災などのボランティアの参加している学生に対し、大学と一体になり支援する。					
学生会行事への参加	☆5/15 ☆幹事会 ☆学員総会 ☆学員役員選挙 ☆支部賞金抽選						○幹事会等		○幹事会等				・学員総会参加を奨励する。 当日は、学員総会と学員会協賛委員会が開催される。 ・幹事は、各幹事会機構を年次支部協議会に報告する。
○学員会主要機関への協力													・学員会活動を掌握し、協調と年次支部での活動に活かす。
・大ネットワーク化への協力													・各支部の総会など機会あるごとに、支援に関するPRを行う。
・白門支援金の協力													・支部間交流を拡大し、ネットワークの拡大に結び付ける。
・各支部イベントへの相互参加													
会議の主権	◎4/13						○ホームcoming協力準備	○25年度進捗報告		○25年度役員選出	○26年度役員選出	○26年度進捗報告	・学員会活動機軸の報告 ・大学評議員会機軸の報告
企画運営委員会の開催	◎4/13						○各種施策の推進と支援	○施策の進捗状況の確認		○役員選定協議			・企画運営委員会は検討する場であり、できるだけ資料の事前配布に心がける。
○企画運営委員会													・年次支部ブース、年次各支部ブースへの支援。共同出店の検討
・ホームcomingパーティーの活性化							○企画立案						・来春卒業の学生への企画が具現化した段階で、年次支部の支援規模、内容を検討し、支援活動を開始する。
・新卒支部結成への支援							○内容審議						・支部未結成の学年には、企画運営委員会が、キーマンなどの情報収集にあたり、順次、支部活動の実態、今後の支部活動
・年次支部未結成支部への結成支援							○企画検討						・特に、若手年次支部を優先的に対話等を行い、今後の支部活動や年次支部活動への理解と共鳴を促すことに力を置く。 学員交流委員会との連携を図る。
・年次支部活動への若手支部参画支援(交流会)							○企画審議						○平成25年度計画 ・他支部間交流促進策として学員会HP整備の本部への働きかけ ・若手年次支部活動に対する活性化対策の事業受託 ・学員参加型異文化交流イベントの企画検討
○学員交流委員会(別添資料)							○HP企画検討						○平成25年度計画 ・各年度支細HPの保有率UP ・メールマガジンの充実 ・新卒者(新学員)のメールアドレスの付与 ○2013年度支細運営方針 ・中大現役生の進路選択に寄与する支援 ・中大OB/OGのネットワーク構築(名簿リスト作成) ・進路選択支援(11月9日、代替11月16日) ・国際的に活躍する学員を多数輩出する大学を目指す、協力事項
○IT化推進委員会(別添資料)							○活性化対策企画検討						・各年度支細HPの保有率UP ・メールマガジンの充実 ・新卒者(新学員)のメールアドレスの付与 ○2013年度支細運営方針 ・中大現役生の進路選択に寄与する支援 ・中大OB/OGのネットワーク構築(名簿リスト作成) ・進路選択支援(11月9日、代替11月16日) ・国際的に活躍する学員を多数輩出する大学を目指す、協力事項
○学生支援委員会(別添資料)							○各年度支部への働きかけ						・各年度支細HPの保有率UP ・メールマガジンの充実 ・新卒者(新学員)のメールアドレスの付与 ○2013年度支細運営方針 ・中大現役生の進路選択に寄与する支援 ・中大OB/OGのネットワーク構築(名簿リスト作成) ・進路選択支援(11月9日、代替11月16日) ・国際的に活躍する学員を多数輩出する大学を目指す、協力事項
○飯橋中央大学ブランドの再生(準備)委員会							○告知チラシ配布						・各年度支細HPの保有率UP ・メールマガジンの充実 ・新卒者(新学員)のメールアドレスの付与 ○2013年度支細運営方針 ・中大現役生の進路選択に寄与する支援 ・中大OB/OGのネットワーク構築(名簿リスト作成) ・進路選択支援(11月9日、代替11月16日) ・国際的に活躍する学員を多数輩出する大学を目指す、協力事項
○広報誌の発行							⇒課題の抽出						・各年度支細HPの保有率UP ・メールマガジンの充実 ・新卒者(新学員)のメールアドレスの付与 ○2013年度支細運営方針 ・中大現役生の進路選択に寄与する支援 ・中大OB/OGのネットワーク構築(名簿リスト作成) ・進路選択支援(11月9日、代替11月16日) ・国際的に活躍する学員を多数輩出する大学を目指す、協力事項
							⇒検討						・各年度支細HPの保有率UP ・メールマガジンの充実 ・新卒者(新学員)のメールアドレスの付与 ○2013年度支細運営方針 ・中大現役生の進路選択に寄与する支援 ・中大OB/OGのネットワーク構築(名簿リスト作成) ・進路選択支援(11月9日、代替11月16日) ・国際的に活躍する学員を多数輩出する大学を目指す、協力事項

平成25年度年次支部執行部役員
 代表幹事 小田 真一
 副代表幹事 松本 茂夫
 副代表幹事 山崎 博光
 事務局長 山崎 博光
 事務局長 山崎 博光
 事務局長 山崎 博光
 事務局長 山崎 博光
 事務局長 山崎 博光

学員交流委員会委員長 山本 卓
 IT化推進委員会委員長 小川 学
 学生支援委員会委員長 間宮 廣之

顧問 正野 健樹
 顧問 増田 晃次郎
 顧問 平岩 弘邦
 会計幹事 橋本 廣二
 会計監査

2013年8月15日

企 画 書

1. 事業名称 現役学生（準学员）の進路選択に寄与する支援
 2. 事業主体 中央大学年次支部協議会
 学生支援委員会 間宮 康之

3. 事業の目的

進路選択に寄与する支援策を実施し、①学生が思う自分のなりたい社会人像を自分自身でイメージできるようにするため、②学生が設定したゴールに向かって、自分自身で現状把握と今後の活動を具体化できるようにするため、そして、③就職活動生の横の交流機会を提することで、卒業後の年次支部としての交流につなげるため

4. 事業概要

① 進路選択支援企画（進路相談会）の実施と規模に見合う宣伝活動

- ・進路相談会
- ・公開模擬面接
- ・社会人と学生の交流を促進する交流会
- ・規模達成（就職活動生 300 名程度）に向けた事前の宣伝活動

② OBOG 名簿リストの作成（今年度より着手）

5. 実施時期 2013年11月16日（土）

6. 収支予算（案）

販(広宣販促)	Facebook	10,000		0
販(印刷)	告知チラシ/Poster/冊子	260,000		0
管(運賃)		0		0
管(旅費交通費)		0		0
管(消耗品費)		0		0
管(水道光熱費)		0		0
管(通信費)		0		0
管(委託手数料)	Poster/冊子の企画制作費	50,000		0
管(電経)電算用消耗品		0		0
管(教育訓練費)		0		0
管(会議費)	11/16昼食費・懇親会費	560,000		0
管(交際費)		0		0
管(租公)印紙税		0		0
管(雑費)		0		0
合計		880,000		0

7. 期待される効果

- ① 学生の以後の就職活動において、能動的に行動できる機会の提供
- ② 規模に見合う進路相談会を実施できることで、多様な業種の社会人（協力者）に呼びかけ、学生の満足度向上に寄与
- ③ 一日だけの企画ではなく、社会人と学生の以後の交流を促進

▼昨年度の様子（参考）



8. 事業費申請額 880,000 円

9. メンバー

委員長	間宮 康之（白鳳会 2007）
副委員長	久保 良太（平成 11 年白門会）
会計幹事	菅野 光憲（白連会 2008）
会計監査	庭山 卓（白門三七会）

【企画班】
間宮
菅野（兼務）
中園（2012 年卒）
齋藤（2012 年卒）
分部（学生）
長谷部（学生）

【広報班】
秋山（2009 年卒）
小堤（学生）

【会計班】
菅野
久保（兼務）

【分析班】
久保
倉員（2013 年卒）
福浦（学生）

【班分中】

社会人：塚原（2010 年卒）、 学生：渡邊・斎藤

※詳細計画書添付 有 無 , .

1. 現状認識 (Research & Review)

～私たちの認識～

1. 中大現役生の進路選択に寄与する支援
 - 中大内定者・若手OB/OG(20代後半が中心)と中大現役就職活動生との接触機会の提供は、昨年で8回目。少人数での個別相談という形式が参加者の高い満足度を得られていることから、学生支援委員会の屋台骨の施策として継続の必要あり。
 - 模擬面接を初めて2012年秋に実施。年次が上のOB/OG(30代・40代)と現役就職活動生との接触機会の提供を開始。但し、面接手法や運営方法については検討の必要あり。
 - 従来の企画実施以外に、新たな支援策が必要か検討。
2. 中大OB/OGのネットワーク構築
 - 年次支部協議会のもとでコラボレーションを初めて実施。本企画の趣旨に賛同くさる幅広いOB/OGのネットワークの構築ならびに新学員の取り込みに向けて今後重要。
 - 上記支援策に適するOB/OGの起用にに向けて、リスト整備も必要。

2. 2013年度目標 (Goal)

～私たちの約束～

- 進路選択に寄与する支援策を通して、
 - ① 学生が思う自分のなりたいたい社会人像を自分自身でイメージできる。
 - ② 設定したゴールに向かって、自分自身で現状把握と今後の活動を具体化できる。
- 就職活動生の横の交流機会を提供、卒業後の年次支部としての交流に繋げる。

3. 計画 (Plan)

～私たちの行動～

1. 進路選択支援企画の実施
 - 日程: 2013年11月16日
 - 規模: 社会人(協力者)30人×就職活動生300人規模
 - 形式: ①進路相談会(年代層に厚みを持たせるよう内容を検討)
 - ②内定者協力を得た公開模擬面接の実施
 - ③企画実施日に、学生間あるいは社会人と学生の交流を促進する交流会の実施
2. OB/OG名簿リストの作成(2013年度より着手)

学生にとって魅力的な社会人、社会人からみられた魅力的な社会人のリスト化。進路支援企画での最適なOB/OGの人選に寄与。副次的に学員会各種活動への呼び込みにも使用。
3. その他
 - ①内定者(4年生・M2)を中心に、新学員との交流策を検討。
 - ②実施可能性を探りながらではあるが、部・ゼミ単位で、専門性の高い進路選択支援企画を個別に実施(例:マーケティング専攻ゼミに、実務で活躍しているOB/OGの派遣検討)等、新規案の検討。

4. 予算 (Budget)

⇒詳細は次頁

～施策費用～

	4～6月	7～9月	10～12月	合計
委託手数料		Facebook (1万)	媒体企画費 (5万)	6万円
印刷費	告知チラシ (4万)	告知チラシ (4万)	Poster (3万) 冊子 (15万)	26万円
				56万円

4. 予算(Budget) 詳細

～施策費用～



準備

掲載・配布

支払時期

4～6月		7～9月			10～12月			備考 (試算)	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
									88万円

広告宣伝費	Facebook									1万円	
委託手数料										5万円	Poster・冊子 企画制作費
印刷費	告知チラシ (キャリアセンター主催 ガイダンス時に配布)									8万円	1枚20円×2,000人相当 ×2回
	Poster									3万円	1枚150円×100部 ×2回
	冊子									15万円	1冊300円×500部想定
その他	OB/OG選定 企画詳細調整										1200円×参加者数 500人×20人 計24000円
	新規支援策										5000円×100部 計500000円
											再会Nightなど、学員を対 象としたイベントを別途検討

- 交流会は、①当日参加の学生と社会人の交流を促進、②学生間の交流を通して新規年次支部形成の足掛かりとすることを目的に実施予定。
- 昨年度未計上の印刷費用を必要経費として申請、一方、交通費・講師費用・協力者謝礼は今年度は計上せず。
- 新規支援策については、大学関係者と協議しながら、経費をかけずに実現できる内容を検討。

年次支部協議会／学員交流委員会（来期事業計画）

提出者

委員長

山本 卓（平成二年支部）

提出日（平成 25 年 3 月 18 日）

1、他支部間交流（他支部開催イベントの相互参加）促進対策としての学員会HP整備の本部への働き掛け

[現状]

- ①年次支部に限らず、学員会の各支部では会員相互の親睦や会員の知的好奇心を満たすことなどを目的に趣向を凝らした各種イベント（講演会、花見会など）が企画されている
- ②これら支部主催のイベントは参加対象者によって下記の2種に分別される
 - (1)参加対象者を支部の所属会員に限定しているもの（支部長招待等も含む）
 - (2)参加対象者を広く他支部会員（学員）に公開されているオープン参加のもの
- ③現在、大学公式HPの【学員会(同窓会)】の頁に各支部が催すイベントを告知する欄【学員会の新着イベント】が設けられているが（裏面参照）、案内には参加対象者の区別なく告知されている
- ④因って会員は自らの所属している支部のイベントのみを閲覧することから、他支部主催オープン参加型イベントの「オープン参加」として告知が徹底しないために他支部間交流の機会が喪失されている

[対策]

- ①年次支部に限らず「学員の交流」を促すためには、支部が所属会員に参加を限定せずに広く学員参加を公開（オープン参加）しているイベント、所謂「学員交流企画」は別立てで告知出来るよう大学や学員会本部にHPの修正、機能強化を働き掛ける
- ②年次支部協議会としては、HPによる「学員交流企画」の告知を推進する一方で、インターネット告知に馴染まない会員を抱える年次支部に対しては、引続いて郵送やFAXなどの紙媒体を活用していく必要がある（ネット告知に馴染まない会員を抱える支部は今でも個々の会員と確り「線」で繋がっているの、紙媒体は未だ有効に機能すると思われる）

2、学員会本部「若年層の学員会離れに対する活性化対策」の事業受託の本部への働き掛けとイベント企画

[現状]

- ①昨年5月12日開催の定時学員総会(協議員会)にて可決された「平成24年度学員会事業計画」で、事業（重点項目）の1[学員会活動、支部支援]に(4)「若年層の学員会離れに対する活性化対策」が盛り込まれている
- ②しかし残念ながら本部による「若年層の学員会離れに対する活性化対策」の事業化は捗っていない
- ③一方で事業(重点項目)1[学員会活動、支部支援]の(2)「支部活動支援の強化・充実」の②〈同期会(年次支部)結成支援〉が功を奏し、若年層の既卒未結成年次支部結成されるなどの成果は出ている
- ④上記支援により結成が図られた平成二年支部が白扇会(平成三年)支部と相計り「平成年次連携『つなぐ』プロジェクト」を発足させ、昨年8月に「北野大講演会」、同10月に「濱嘉之講演会」を企画し、延べ100名近い若年層中心の参加者を集客させた

[対策]

- ①学員会本部事業「若年層の学員会離れに対する活性化対策」を、若年層をも組織的に網羅し得る「年支部協議会」が支援すべく、本部と協議して「受託事業」のスキーム構築を図る
- ②平成二年支部が白扇会(平成三年)支部と相計って発足させた「平成年次連携『つなぐ』プロジェクト」を本部による「若年層の学員会離れに対する活性化対策」の一環として位置付けるべく「年次協議会」として本部に提案、来年度事業に盛り込み、併せて当該事業を年次支部協議会として受託すべく働き掛ける

3、「異文化交流」を掲げた学生のための学員参加型交流イベントの企画検討

以上

企 画 書

1. 事業名称 「IT化推進」プロジェクト
2. 事業主体 中央大学年次支部協議会
IT化推進委員会 責任者氏名 小川 学
3. 事業の目的
- ①IT化することにより年次支部協議会メンバー間の連絡を容易にする。
 - ②各年次支部の活動の活性化を支援する。
 - ③年次を跨った活動の活性化を支援する。
4. 事業概要
- ①年次支部協議会メンバーに対する連絡網の構築
 - ②各年次支部のホームページ作成支援
 - ③年次を跨った共通ホームページの作成
5. 実施時期 2013年1月1日～2013年12月31日（計12回）
6. 収支予算（案）

収入	概要	金額	支出	概要	金額
前年度繰越		0	交通費		10,000
年次支部拠出金		0	会議費		20,000
学生会事業費		0	通信費		30,000
会費		0	Software		20,000
			Hardware		20,000
合計		0	合計		100,000

7. 期待される成果（過去の実績）

- ①郵便費用が削減されるので、通信費のコスト削減
- ②各年次支部内の告知が容易になるので、年次支部内活動の活性化が図れる。
- ③年次を跨った支部間の告知が容易になるので、年次を跨った活動の活性化が図れる。

8. 事業費申請額 100,000円

※詳細計画書添付（無）

企 画 書

1、事業の名称

年次支部協議会 会報の発行

2、事業主体

中央大学年次支部協議会 広報担当責任者 佐藤愛子

3、事業の目的

- ① 学員全体の緊密なネットワーク作りを構築するために会報を発行し、HP推進と共に、年次支部協議会の広報活動を活性化させる。
- ② 学員と学生への広範囲な取材等を通じ、年次や地域を越えて参加出来るような大学関連行事、支部活動の様々な情報提供をすることにより、各支部の相互理解、世代間の連携、交流を深めることを目的とする。

4、事業概要

年間2回程度発行予定、

- ① 年次支部協議会事業計画、活動報告
- ② 各委員会活動報告
- ③ 各支部活動状況紹介、イベント・交流会案内
- ④ 大学関連行事（ホームカミングデーほか）、学生のスポーツ応援、音楽演奏会、講演会等の案内
- ⑤ 学員OBへの学生支援(就活・ボランティア活動等)の協力依頼

5、実施時期

平成25年度は10月下旬頃に創刊号発行予定

6、収支予算(案)

前年度繰越金	無
今年度年次支部拠出金	未定
収入 名刺広告	未定

7、期待される成果

- 年次支部協議会の存在認識もない多くの一般会員に、PR効果が期待できる。
(これまでは全体としての広報活動が殆どなく、単支部の会報にまかされていた為)
- 会報発行が、年次や地域を越えた一般会員、若い世代への幅広い情報提供になり、交流機会の増加、学生への支援活動等の宣伝が、大学のネットワーク構築にも貢献出来る。

8、事業申請額 150,000円(編集費+印刷費+郵送代ほか)

学会年次支部協議会 若手支部意見交流会 (2013/07/13)

「年次支部協議会」とは、
卒業後は、全員が学员（自動的に年次支部の会員）
学会の年次支部をつなぐことが目的

「目的」

※「年次支部、約60支部の連携のネットワークを構築する。」

- ① 自年次支部だけでなく、年次を超えて、気楽に、楽しくフレンドリーに交流する場や体制づくりを行う。
- ② 先輩、後輩にこだわらず、学员として相互に協力する体制を構築する。
特に、先輩支部は、後輩支部の全面的なバックアップを行う。・・・先輩として、知恵や人脈の紹介等を行う。(口は控えめに)
- ③ 学校法人中央大学、学生の支援を行う

「現在の活動」(別紙：今後の計画案)

- ① 学员交流委員会・・・学员同士のフレンドリーな交流を実現していく。
- ② IT化推進委員会・・・年次支部ホームページの制作支援(現在)、学员同士が交流できるイベント情報サイトの制作(今年度)
- ③ 学生支援委員会(就職支援)・・・就職セミナーを実施し、学生の就職支援に寄与する。

「お知らせ」・・・みんなで参加しよう。

- ① 10月19日(土) 箱根駅伝予選会：昭和記念公園(立川) 9時スタート
- ② 10月27日(日) ホームカミングデー(学员白門際)：多摩校舎 10時～16時
年次支部協議会で出店(さんのへりんご)します。(幹事：白門44会)

「ご意見」を頂戴します。(昭和50年次以降後卒業の方)

平成25年7月12日現在

若手年次支部意見交流会

支部名	役職	氏名
白門三九会	副幹事長	小竹 正倫
白門44会	企画委員	松木 茂夫
白門45会	幹事長	山城 博光
白門46会	事務局	平岩 弘邦
白門46会	欠席	
昭和48	代表幹事	小田 真一
	総務部長	佐藤 愛子
白門53会	支部長	野田 明利
	幹事長	權守 隆男
白門58会	支部長	小暮 睦美
	財政部長	柳 幸季
白門63会	幹事長	松尾 志才吉
	幹事長	小川 学
平成元年	会計監査	久保田 寿栄
	副会長	菊地 英治
	支部長	山本 卓
平成2年	幹事長	清水 裕之
		小林 良信
白扇会	欠席	
平成11年白門会	幹事長	久保 良太
2007	幹事長	間宮 廉之
2013	支部長	河上明日美
	幹事長	倉員 亮
顧問		室 勝弘
学員会本部事務局		胡麻本 太

欠席

出席者数

22
23名

日頃より年次支部協議会活動にご協力誠に有難うございます。
 今年度のIT推進委員会のHP配信、交流委員会の会報発行など新たな施策により、更なる年次支部活動活性化に役立てたいと考えております。つきましては、平成25年9月～平成26年8月位までの貴支部の活動予定、イベント情報等を差し支えない範囲でお知らせ頂きたく、宜しくお願い申し上げます。

支部名 _____ 支部 _____

年 月	活動予定・イベント名 (例)講演会、総会他	活 動 内 容 (例)人数・場所、一般公開有無 他
25年9月		
25年10月		
25年11月		
25年12月		
26年1月		
26年2月		
26年3月		
26年4月		
26年5月		
26年6月		
26年7月		
26年8月		

年次支部協議会、今後の活動へのご意見（ご自由にお書き下さい）

支部 お名前

1、 学員同士の交流会はどのようなことを希望されますか？

例) 学生を交えた交流会、趣味を同じくする同好会、年数回の大きなイベント、バスツアー、講演会、他支部との交流会 他

2、 学生に対する支援

例) 就職活動支援、東北大震災へのボランティア活動への支援、中大音研演奏会観賞参加、野球・駅伝応援等のスポーツ支援 他

3、 大学行事への参加（ホームカミングデー等）について

*ご回答はF a x (042-679-3329 佐藤愛子自宅)、又は年次支部協議会全体会にてご提出お願い致します。

第90回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会 要項 (案)

(Ⅱ)

1. 主催 関東学生陸上競技連盟
2. 共催 読売新聞社
3. 特別後援 日本テレビ放送網株式会社
4. 後援 報知新聞社 国営昭和記念公園 立川市 立川商工会議所
5. 特別協賛 サッポロビール株式会社
6. 協賛 ミズノ株式会社 トヨタ自動車株式会社
7. 協力 敷島製パン株式会社
8. 運営協力 東京陸上競技協会 陸上自衛隊立川駐屯地

9. 期 日 平成25年10月19日(土) 9:35スタート

駅伝地味

10. 場 所 陸上自衛隊立川駐屯地～立川市街地～国営昭和記念公園 立川駅～約20分

11. 距 離 20km スタート地味は昭和記念公園 西立川駅～約7分
経由となります。(入場料必要)

12. 出場資格
- 1) 平成25年度関東学生陸上競技連盟男子登録者で、本予選会並びに箱根駅伝本大会出場回数が通算4回未満である者に限る。ただし、別個加盟の大学院の競技者は、学部での出場回数に関係なく新たに4回まで出場できる。
 - 2) 1校1チームとする。ただし、エントリーは10名以上14名以下とし出場人数は10名以上12名以下とする。
 - 3) 平成24年1月1日(日)より申込み期日前日までに各校エントリー者全員が5000m 16分30秒以内もしくは10000m 34分以内の公認記録を有していること。ただし、トラックでの記録に限る。
 - 4) エントリー用紙に記入してある記録を出した競技会主催者発行の記録証のコピーを全員分必ず添付すること。ただし、関東学連主催の競技会はこの限りではない。

× 13. 参加料 なし

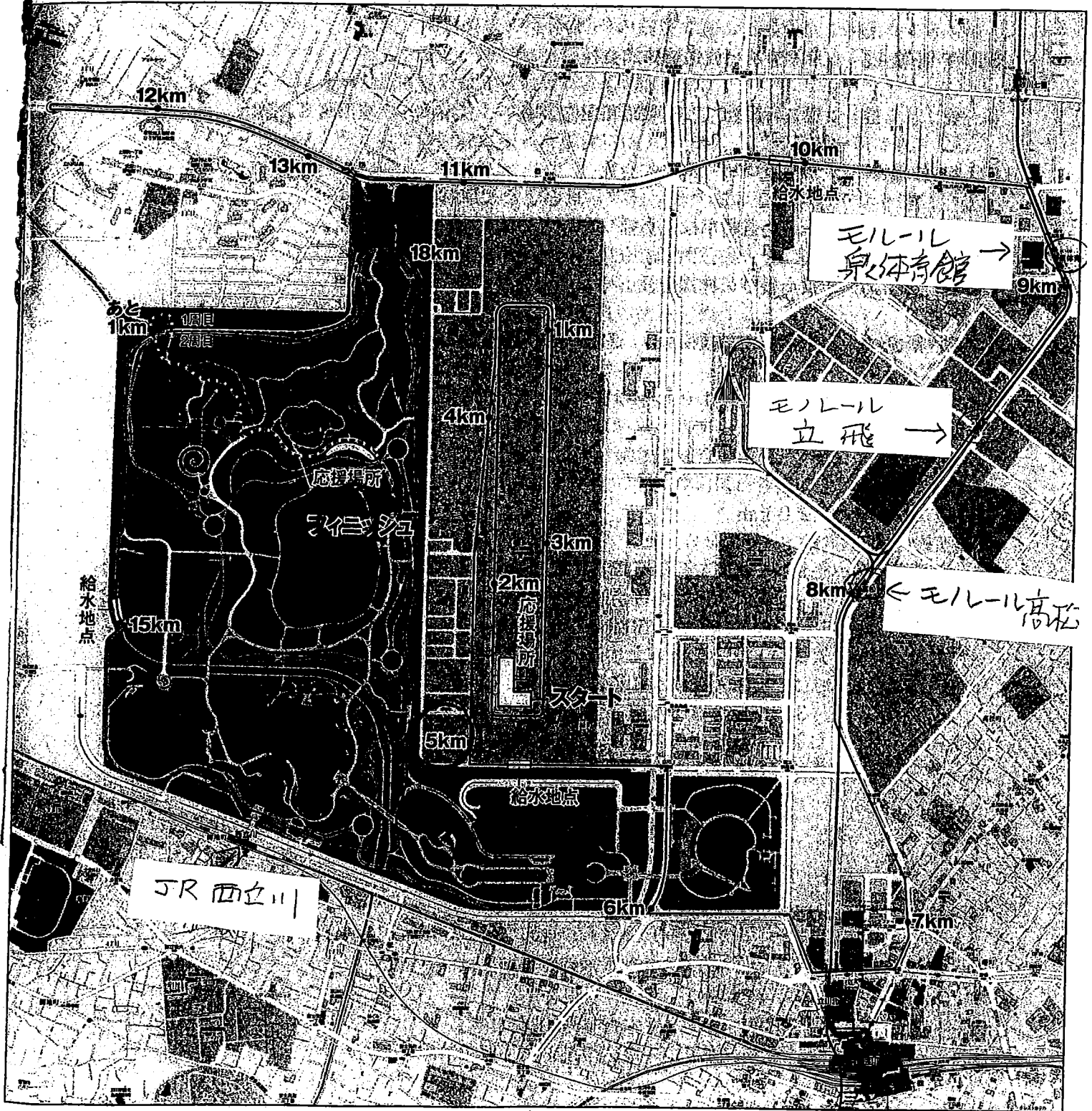
- × 14. 申込要項
- 1) 日 時 平成25年9月 日 ()
 - 2) 時 間 9:30集合
 - 3) 場 所 未定
 - 4) 方 法
 - ・ 申込用紙1部 (押印済みのもの)
 - ・ データ入力済の記録媒体 (USBに限る)
 - ・ 記録証明書のコピー 1人1部
 - ・ 応援に関する誓約書 1部
 - ・ 応援団参加に関する誓約書 1部 (実施する大学のみ)

15. 選考方法 各校上位10名の合計タイムにより13校を選ぶ。

16. 順位決定方法
- 1) 競技成績での上位10名の合計タイムが少ない大学を上位とする。
 - 2) 1) で同タイムの場合には上位10名の合計順位が少ない大学を上位とする。
 - 3) 2) によって順位が決定しない場合には、各校最上位選手の順位が上位の大学を上位とする。
 - 4) 1) の基準で13位に複数校が並んだ場合には、2) 及び3) より順位を決定する。

東京箱根間往復大学駅伝競走予選会コース図

日本陸上競技連盟公認20kmコース



JR 立川

4-2
✍

沿道及び昭和記念公園内での 応援に関するお願い

沿道で応援していただく皆様に、大会は育てられてきました。
これからも、末永く愛される予選会でありたいと思っております。
是非とも、応援マナーにご協力をお願いします。

[禁止事項]

禁 止 事 項

- 脚立を使つての応援は危険です。
- ガードレールや橋など、沿道公共物への横幕、旗、幟等のくくりつけは、道路交通法違反行為です。
- 自動車、自動二輪車、自転車等の車両による応援は危険であり、交通渋滞を招きます。
- 混雑緩和と、応援者の場所取りなどによる混乱を避けるため、スタート地点、フィニッシュ地点の前後100m以内では出場校を示す物は掲出できません。
例)校旗、部旗、その他、大学を標示する横幕、旗、大学新聞の配布等。
- 道路上での応援は危険です。必ず歩道から応援してください。
- 選手は歩道寄りギリギリを走ってきますので、歩道から手や身体を乗り出しての応援は危険です。
- 国営昭和記念公園では、動植物を保護しています。決められた通路以外への立入りにより、動植物を傷つけないようにご注意ください。また、植物や昆虫の採取はできません。



2013年8月吉日

学員会関係者 各位

学友会事務室

箱根駅伝予選会の応援について (応援体制および応援グッズ確認のお願い)

日頃、学友会所属部会へのご支援、ご声援を賜り、厚く御礼申し上げます。来る、10月19日開催の「箱根駅伝予選会」についても、大学一丸となって陸上部を盛り上げ、少しでも選手の背中を後押しできるような応援体制を確立したいと思っております。ご協力よろしくお願いたします。

なお、応援にあたり、応援グッズ (マフラータオル、貸出用メガホン) をご用意しております。応援予定の団体には応援グッズを事前にお届けいたしますので、以下のアンケートに必要事項を記入の上、10月4日 (金) までに学友会事務室藤田までご返送下さい。よろしくお願いたします。

応援団体名		
代表者様 ご連絡先	お名前:	
	ご住所: 〒	—
	携帯電話:	
	メールアドレス:	
参加予定者数		人
応援グッズ 必要数	マフラータオル※1人1枚でお願いします	枚
	貸出用メガホン※要返却	個
応援予定場所		
備考		

※応援グッズ送付先が代表者様以外の場合は、備考欄にお送り先の住所・お名前・連絡先をご記入下さい。

※貸出用メガホンは、予選会当日ゴール付近でご返却いただくか、10月末日までに学友会宛にご返送下さい。

この件に関する問い合わせ先・アンケート返送先: 中央大学 学友会事務室 担当: 藤田智子

(TEL:042-674-4301 FAX:042-674-4307 メール: gakyu-kai@tamajs.chuo-u.ac.jp)

ホームカミングデー出店

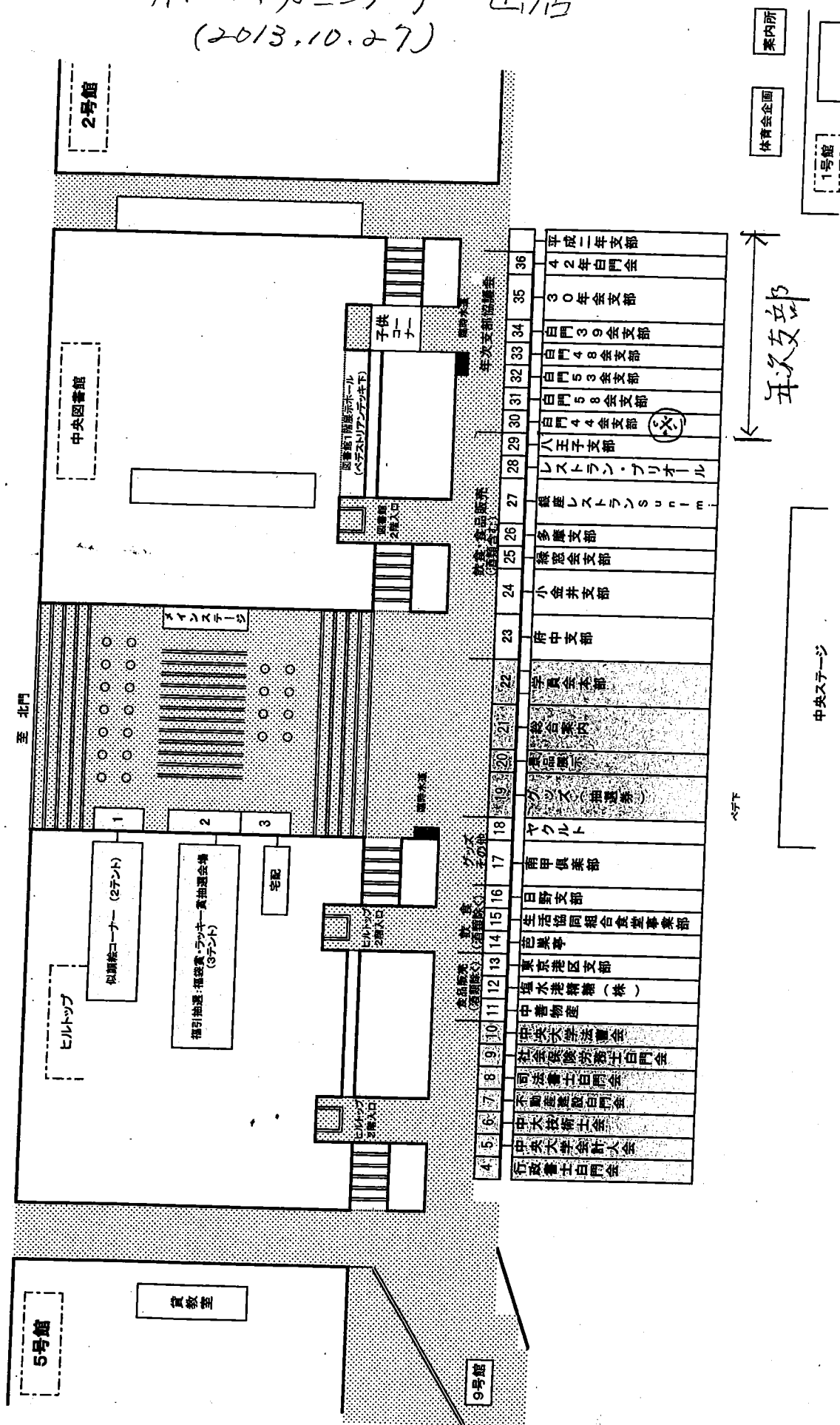
(2013.10.27)

(目)

模擬店場所(テント)配置図

2013.7.31 現在

メイン会場配置図



4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
行政書士白門会	中央大学会計人会	中大技術士会	不動産鑑定白門会	司法書士白門会	社会保険労務士白門会	中央大学法学会	中善物産	塩水港練精(株)	東京港区支部	芭蕉亭	生活協同組合食器事業部	日野支部	南甲倶楽部	ヤクルト	カニく(地産物)	食品販売	総合案内	委員会本部	府中支部	小金井支部	経理会支部	多摩支部	銀座レストラン Supreme	レストラン・アリオール	八王子支部	白門44会支部	白門58会支部	白門53会支部	白門48会支部	白門39会支部	30年金支部	42年白門会	平成二年支部

5.

第22回ホームカミングデー 模擬店等出店者一覧

修正版 2013年8月20日現在



テント	出店者名	支部名等	出店種別			出店内容	テント数	電源口数	消費電力(W)	水	机	パイプ椅子	ボール	パケツ	ゴミ箱
			飲食店	食品販売	その他										
1	似顔絵コーナー				○	職員、学生による似顔絵無料サービス					6	30			2
2	福引抽選会場				○	福袋賞、ラッキー賞抽選					15	10			2
3	宅配便受付				○	宅配便受付					4	4			1
4	行政書士白門会				○	無料生活相談会：行政手続、法人関係、遺言等の相談	1				3	10	2		1
5	中央大学会計人会				○	無料生活相談会：税務と会計相談	1				2	4			1
6	中大技術士会				○	無料生活相談会：「企業」や「現場」での技術的トラブル等の相談	1	1	600		2	5	2		1
7	不動産建設白門会				○	無料生活相談会：不動産による相談	1	2	800		3	12	2		1
8	司法書士白門会				○	無料生活相談会：不動産登記・会社登記相談、成年後見・債務整理等の相談	1				4	12	2		1
9	社会保険労務士白門会				○	無料生活相談会：解雇・年金・労災・メンタルヘルス・雇用等の相談	1				4	10			2
10	中央大学法曹会				○	無料生活相談会：相続・債権債務・不動産等法律問題の相談	1				4	10			2
11	中善物産(兵庫県)				○	鳴門わかめ、桜えび、素干小魚、黒糖わらびもち、大福、かりんとう他	1			1	3	3	1	1	1
		看板表示				中善物産(ふるさと兵庫、神戸、明石、淡路島)									
12	塩水港精糖株式会社				○	特定保健食品「オリゴのおかげ」	1				3	3	2		
		看板表示				オリゴのおかげ 塩水港精糖(株)									
13	東京港区支部	東京港区支部			○	港白門会よりおぎのやの「峠の釜めし」	1			1	6	8	2	1	1
		看板表示				東京港区支部(港白門会)									
14	秋南食品				○	秋田天然手作りみそ、稲庭うどん、漬物いぶりがっこ	1			1	2	2	2	2	1
		看板表示				秋田県(有)秋南食品									
15	芭菓亭				○	ゆやしうどん(ジャージャーうどん、明太玉うどん、梅さきみうどん)・ヒュー、おひたけ、唐揚げ串、串カツ	1	1	790		2	2	1		1
		看板表示				芭菓亭									
16	中大生協食堂事業部				○	東北地方の食材を使用した料理	1	3	3000	1	4	4	2	1	1
		看板表示				中央大学生協食堂事業部									
17	日野支部	日野支部			○	焼きイカ	1			1	6			1	4
		看板表示				日野支部									
18	南甲倶楽部	南甲倶楽部			○	南甲倶楽部のPR、サロン		2	2400		8	32	2	1	1
		看板表示				南甲倶楽部									
19	(株)ヤクルト				○	ヤクルト400	1	2	1000		2	6			2
		看板表示				人も地球も健康に Yakult									
20	福引抽選券付中大グッズ販売				○	生協オリジナルグッズ、事業部オリジナルグッズ、他					8	8			2
21	福引景品展示				○	特賞品展示	1				6				1
22	総合案内(本部)				○	プログラム配布、学員対応等					6	20		1	1
23	学生会本部				○	学員対応、支部広報紙配布等 看板(学生会本部)(学生会海外支部)2枚					6	20		1	1
24	府中支部	府中支部			○	ビール、ジュース、オードブル(ソーセージ、チーズ、ニシンのマリネ、ピクルス、サーモン、生ハム等)		2	3000	1	10	10	2	1	2
		看板表示				府中支部(プレミアムモルツ サントリービール)									
25	小金井支部	小金井支部			○	和菓子、酒				1	10	6	2	2	2
		看板表示				小金井支部(三精和菓子店)、小金井支部(純酒白門販売所)2枚 間のテント幕入れる									
26	緑窓会	緑窓会支部			○	ニュージーランド産ワインの販売	1				4	6		1	2
		看板表示				中央大学学生会 緑窓会支部									
27	多摩支部	多摩支部			○	手作り味噌(原峰のおどり)、多摩の米で造ったお酒(原峰のいづみ)その他	1				6	10	2		1
		看板表示				多摩支部(多摩の名産品)									
28	銀座レストランSun-mi				○	ビール、黒和牛入り焼そば他		2	2000	1	16	32		4	5
		看板表示				銀座レストランSun-mi									
29	レストラン プリオール				○	ローストビーフ、赤ワイン(グラス)	1	1	1000	1	5	3		1	2
		看板表示				レストラン プリオール									
30	八王子支部	八王子支部			○	おでん、ビール	1	1	200	1	3	8	2	2	3
		看板表示				八王子支部									
31	白門44会支部	白門44会			○	青森産(三戸りんご)	1	1	200	1	5	10	2	1	3
		看板表示				白門44会支部(白門りんごの会・青森県三戸梅りんご組合)									
32	白門58会支部	白門58会			○	書籍等	1	3	1400		3	10	1	1	1
		看板表示				白門58会支部									
33	白門53会	白門53会			○	家庭雑貨、古本、全国各地の特産品他	1	4	400	1	4	20	2	1	2
		看板表示				白門53会									
34	中央大学白門48会支部	白門48会			○	中村屋オリジナルカレー他、	1	1	1200	1	4	8	2	2	4
		看板表示				白門48会(株式会社中村屋)									
35	白門三九会	白門三九会			○	陶磁器(中央大学インシャル入りの食器等)	1				3	2	1		2
		看板表示				白門三九会(深川製磁販売株式会社)									
36	30年会支部	30年会支部			○	野菜、おきソフトドリンク、国産ウニ、りんご、餃子、A級まめお汁、黒豆餡、あまちゃん関連グッズ、電卓、イカせんべい他		2	1000		4	10	2	2	4
		看板表示				30年会支部 陸中海岸復興物産展(山田町特産品販売協同組合、久慈広域観光協議会、古賀観光協会)									
37	42年白門会支部	42年白門会			○	ヒバ製品、モンゴル岩塩、昆布、ウニ、乾燥ニンニク、その他物産品(福枝の島他)	1				4	5	2		2
		看板表示				42年白門会(有)ヒバ工房									
38	平成二年支部	平成二年支部			○		1				4	8		2	2
		看板表示				平成二年支部(福島復興物産展)									
39	子どもコーナー				○	テント内ゲーム		2	3000		4	10		1	2
40	会場案内所※1号館前				○	プログラム配布、学員対応等	1				3	10			1
41	体育会企画案内所(学員体育会)				○	※ベテ上・1号館前:					4	10	2		2
42	巡回バス案内所				○	運動部公開練習場巡回バス乗り場 ※池の端	1				1	10			1
43	呈茶(虚白庵)案内所				○	呈茶(申し込み所)	1				2	6			1
44	臨時喫煙所				○	※北門入り口(横幕なしテント)	1								
							58	30	21990	13	177	356	42	30	67

2013年8月31日

学生支援委員会

2013年度中間報告について

標記の件について、下記の通り報告する。

記

【G：単年度（2013年度）の目標】

（2013年度活動方針（別添1：横書き資料参照、再掲）

- ・進路選択に寄与する支援策を通して、
 - ①学生が思う自分のなりたい社会人像を自分自身でイメージできる。
 - ②設定したゴールに向かって、自分自身で現状把握と今後の活動を具体化できる。
- ・就職活動生の横の交流機会を提供、卒業後の年次支部としての交流に繋げる。

目標達成に向け、以下の進路選択支援企画を社会人・学生が一丸となって検討中

【P・D：計画/実践】

<概要>

- ・11月16日（土）午後、四部構成で立案、関係者と現在調整中

	時間	内容
第一部	約30分	学生のモチベーションを引き上げるオープニングガイダンス
第二部	※	進路相談会（若手社会人に学生が質問する形式）
第三部	約50分	公開模擬面接（集団面接）& Group Discussion （内定者・社会人1年目を対象に）
第四部	約120分	社会人と学生の交流会

※ 約30分×4セット＋移動時間・休憩時間＝約160分

一部業界を除き、依然として中央大学の学生を取り巻く採用環境は厳しいものの、参加する学生自身のモチベーションが上がる内容にてプログラムを検討。具体的には、学生自身は当日のオープニングガイダンスで自分の行動特性を考え、事前に調査した社会人のそれとどの程度価値観が近しいかを軸に相談相手を選べる切り口を新たに検討。従来の業界別、年次別という切り口も併せて担保することで、満足度向上を狙う。

- ・4月13日の年次支部協議会に申請した予算の可否が未決のまま
⇒呼び込む人数規模が決められない。

<チームコンセプト>

学生の意向をアウトプットまで導き出せるよう社会人が支援、アイデア出しを伴うチームは学生と社会人の混成チームとしている。



【広報班】
秋山(2009年卒)
小堤(学生)

【会計班】
菅野
久保(兼務)

【分析班】
久保
倉員(2013年卒)
福浦(学生)

(班分中)

社会人：塚原（2010年卒）、 学生：渡邊・斎藤

<広報班>

- ・学生が参加したいと思わせるべく、イメージ・写真・メッセージ等で表現する予定
- ・現在検討中の9月中旬以降配布予定のチラシ（別添1参照）
- ・また、canvas+（連携している学生団体）を活用して、他の学生団体への働きかけも行う。
- ・4月13日の年次支部協議会に申請した予算の可否が未決のまま
⇒印刷部数が決められない。1回目のチラシ印刷が間近に迫っている。

<分析班>

- ・一昨年・昨年の実施アンケートを分析、学生は就職活動をはじめたばかりの層といつでもOB/OG訪問がはじめられる層がこの時期混在
- ・今年のアンケート（別添2参照）、自由記述欄を増やしたのは、参加者のニーズを把握するため。また、女性の就職支援においては、何を求めてこの進路相談会に参加しているかを今年度把握し、次年度の準備に繋げる。
- ・はじめて参加した社会人向けのアンケートも実施予定（アンケート案を検討中）

<検討事項>

- ・留学生就職支援
9月以降国際センターと協議予定

<問題点>

- ・予算執行について
4月13日の申請後、可否について棚上げされているため、各班の活動に影響あり

以上

■ポスター・ビラのデザイン案（注意：掲載情報は前年のものを使用）

①シンブルメッセージ+デザイン

②シンブルメッセージ+写真

③考えさせられるメッセージ+写真

社会人になる。

CHUO 進路 相談会
11.17(土) 13:30-15:30 新座 学生センター

CHUO University
1-1-1, Hino, Tokyo 199-8565
TEL: 0426-820800 FAX: 0426-820801
E-MAIL: chuoinfo@chuou.ac.jp

「はたらく」ことを考える

CHUO 進路 相談会
11.17(土) 13:30-15:30 新座 学生センター

CHUO University
1-1-1, Hino, Tokyo 199-8565
TEL: 0426-820800 FAX: 0426-820801
E-MAIL: chuoinfo@chuou.ac.jp

君はなにを「考える」

CHUO 進路 相談会
11.17(土) 13:30-15:30 新座 学生センター

CHUO University
1-1-1, Hino, Tokyo 199-8565
TEL: 0426-820800 FAX: 0426-820801
E-MAIL: chuoinfo@chuou.ac.jp

別添1

2013.11.16.Sat 第2回CUHO進路相談会 参加者アンケート

2

本日は、お忙しい中、お越し頂きありがとうございました。
Canvas+では、今後もこのように、「中大のタテとヨコのつながりを強化して中大を活性化する」ための活動を行ってまいります。是非とも皆様の声を参考にさせて頂きたいと思っておりますので、お手数ですが、アンケートへのご協力をお願い致します。なお、このアンケート結果は、事務局での統計・分析にのみ使用し、他の目的で使用しないことをお約束いたします。

学部 _____ 性別 男・女 国名: _____
(留学生の方のみ)

第1問：今回の進路相談会に参加するにあたり、何に期待をしていましたか？【自由記述】

第2問：各企画内容の満足度について、あてはまるものに1つ○をつけてください【択一】

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
1.オープニングガイダンス	5	4	3	2	1
2.社会人・内定者とのブース相談会	5	4	3	2	1
お話しされたOB/OG1 (OB/OGの名称: _____)	5	4	3	2	1
お話しされたOB/OG2 (OB/OGの名称: _____)	5	4	3	2	1
お話しされたOB/OG3 (OB/OGの名称: _____)	5	4	3	2	1
お話しされたOB/OG4 (OB/OGの名称: _____)	5	4	3	2	1
3.公開模擬面接・Group Discussion	5	4	3	2	1

第3問：第2問で1・2をつけた方へ。具体的にどこが「不満」、「やや不満」でしたか？

【自由記述】

第4問：あなたは、どこで第2回CUHO進路相談会の情報を知りましたか？【択一】

- ポスター Facebook 第1回CHUO進路相談会 友人の紹介 先輩・OBの紹介
キャリアセンターからの案内 国際センターからの案内 教職員からの案内
その他 (_____)

第5問：志望業界が決まっている方は、教えてください【複数回答可】

(第一希望の業界については○をつけてください)

- テレビ局・ラジオ局 新聞社 その他マスコミ 出版社 広告代理店 銀行 証券
保険 金融(銀行・証券・保険除く) 不動産 総合商社 卸売(総合商社除く)
自動車 機械 鉄鋼・非鉄 電機・精密 建設・資材 運輸・物流 電力・ガス
エネルギー資源 食品 素材・化学 医薬品 印刷 情報通信 サービス
コンサルティング 人材 小売 公務員 その他製造業 未定 その他(_____)

参考：朝日新聞のデータよりCanvas+作成

第6問：具体的な志望企業が決まっている方は、教えてください【自由記述】

第7問：あなたは、いつ就職活動を始めましたか？

年 月頃

また、始めるきっかけ等がありましたら、教えてください【自由記述】

第8問：あなたは、何を基準に仕事を選びますか？【複数回答可】

(最も重視するものについては◎をつけてください)

- 給料 企業の知名度 勤務先 離職率 採用人数 福利厚生 社会貢献 Uターン
企業理念 業界や業種 従業員の平均年齢 やりがい キャリアパス 職場の雰囲気
その他 ()

参考：就職四季報よりCanvas+作成

第9問：第8問であなたがそれを選んだ理由を教えてください【自由記述】

第10問：あなたの希望の職を教えてください【択一】

- 総合職 一般職 総合職・一般職 未定

第11問：第10問であなたがそれを選んだ理由を教えてください【自由記述】

第12問：全体を通してご意見がございましたら、ご自由にお書き下さい【自由記述】

ご協力ありがとうございました

キャンパス
Canvas+